

高橋 保議員

(議案質疑)

- 1 放課後児童健全育成事業について
- 2 愛顔の子育て応援事業について
- 3 椿交流館費について

放課後児童クラブの更なる充実を！

問

放課後児童クラブについては、適正な指導体制が確保できるよう、指導員の勤務時間の拡大やハローワークなどの活用を努めるとのことであったが、現在、どのような状況になっているのか。また、指導員の育成についてどのように取り組んでいるのか。更に、放課後児童クラブを民間へ事業委託することについて、どのように考えているのか。

答

近年、全国的に子育て支援に係る人材の不足が顕在化しており、本市の児童クラブにおいても利用児童数の増加に伴い人材不足が顕

著になっている。広報紙やホームページ、ハローワークを通じて募集を行っているが、指導員不足の解消には至っていないのが現状である。そのため、平成28年度から小・中学校や幼稚園に勤務する特別支援教育支援員に児童クラブ指導員の兼務を要請するなど、限られた人材の有効活用を努めている。指導員の人材育成については、平成27年度から愛媛県がスタートさせた放課後児童支援員認定資格研修をはじめ、ファミリーサポートセンター事業などの講習や研修を積極的に受講させ、資質向上に取り組んでいる。

児童クラブの民間への事業委託については、既に市内全25小学校区への整備が完了しているため、緊急性はないと考えている。しかし、民間への事業委託は、夏休みなど利用児童数が一時的に増加する時期において施設が狭くなることや指導員が特に不足傾向となるなどの問題を解消でき、更には児童及び保護者の選択の多様性の確保も可能となることから、引き続き検討していきたい。

西条市民クラブ

佐伯利彦議員

(代表質問)

- 1 市政運営に対する市長の基本姿勢について
- 2 平成29年度施政方針及び当初予算について

ワクワク度日本一の西条

実現のための取組は？

問

市長は、施政方針の中で「ワクワク度日本一の西条」を目指して「市民主役の西条」「住みたい西条」「市民が進める行財政改革」「夢が持てるまち西条」「つながり広がる西条」の5つの基本政策を推進し、チーム西条一丸となって全員参加型のまちづくりに邁進していくと述べられているが、具体的にどのような施策に取り組んでいくのか。

答

「住みたい西条」の実現のため、今回、ヘリ

コバクター・ピロリ感染検査を中学2年生と年齢50歳に達するかたのそれぞれの希望者を対象に実施することとし、市民の健康増進に取り組んでいくこととしている。今後は、公民館を市民に身近な健康づくりの拠点とし、ICTの有効活用などによる健康寿命の延伸やQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の改善にも取り組む、子育てから介護までしっかりとマネジメントされた一歩先を行く先進自治体を目指していきたい。

また、「夢が持てるまち西条」の実現のためには、地元企業を力強く支援していかなくてはならないと感じている。そこで、都市部からのUターンやイターンを促進するため、新居浜市と連携して就職情報ポータルサイトを運営し、求人情報を発信することによ



メタレックス・ベトナム2016 西条市ブース出展の様子

り人材を確保していきたい。更に、中小企業への確なアドバイスをすることで、品質の安定化や収益力の向上を図るとともに、競争力を強化するための製造現場の改善支援、大規模展示商談会への出展や地域大手企業と中小企業とのマッチング強化など、地元企業支援策を積極的に展開することとしている。

また、平成28年12月に認定された地域再生計画「地域産業資源を活用した競争力強化・新産業創出プロジェクト」を展開することにより、市内林業活性化につながることを期待されるCLT一貫製造拠点化や水素エネルギー関連産業、医療・医薬品産業など次世代分野の産業を創出、推進することですっきりと地域の稼ぐ力を強化し、働く場所を確保していくことが重要であると考えている。

今後は、ICT技術によるスマートタウンの構築や水素など再生可能エネルギーを活用した新産業創出によるエネタウン構想なども視野に入れたまちづくりを展開していきたい。